

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和5年12月22日

リコール届出番号	外-3752	リコール開始日	令和5年12月22日
届出者の氏名又は名称	フォルクスワーゲングループ ジャパン株式会社 代表取締役 マティアス シェーパース	製作国：ドイツ連邦共和国 製作者名：フォルクスワーゲン株式会社 問い合わせ先：フォルクスワーゲン カスタマーセンター (フリーダイヤル)0120-993-199 (アドレス)http://www.volkswagen.co.jp/	
不具合の部位（部品名）	制動装置（遮熱マット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ブレーキ液のリザーバータンクにおいて、生産工場での組付作業指示が不適切であったため、遮熱マットが正しく取り付けられていないものがある。そのため、エンジン高負荷時等の熱により当該リザーバータンクの端部が溶損することがある。最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、高温の排気系部品に触れると火災となるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、遮熱マットの組付状態を点検し、正しく取り付けられていない場合は修正する。また、リザーバータンクの端部に溶損が認められた場合はブレーキ液リザーバータンク付マスターシリンダーを新品に交換する。 ② 全車両、リザーバータンクの端部に新たに遮熱フェイェルを取り付ける。		
不 具 合 件 数	2件※	事故の有無	火災1件※
発 見 の 動 機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車使用者：ダイレクトメール、電話および電子メール等で通知する。 ・ 自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・ 弊社インターネットホームページに掲載する。 		

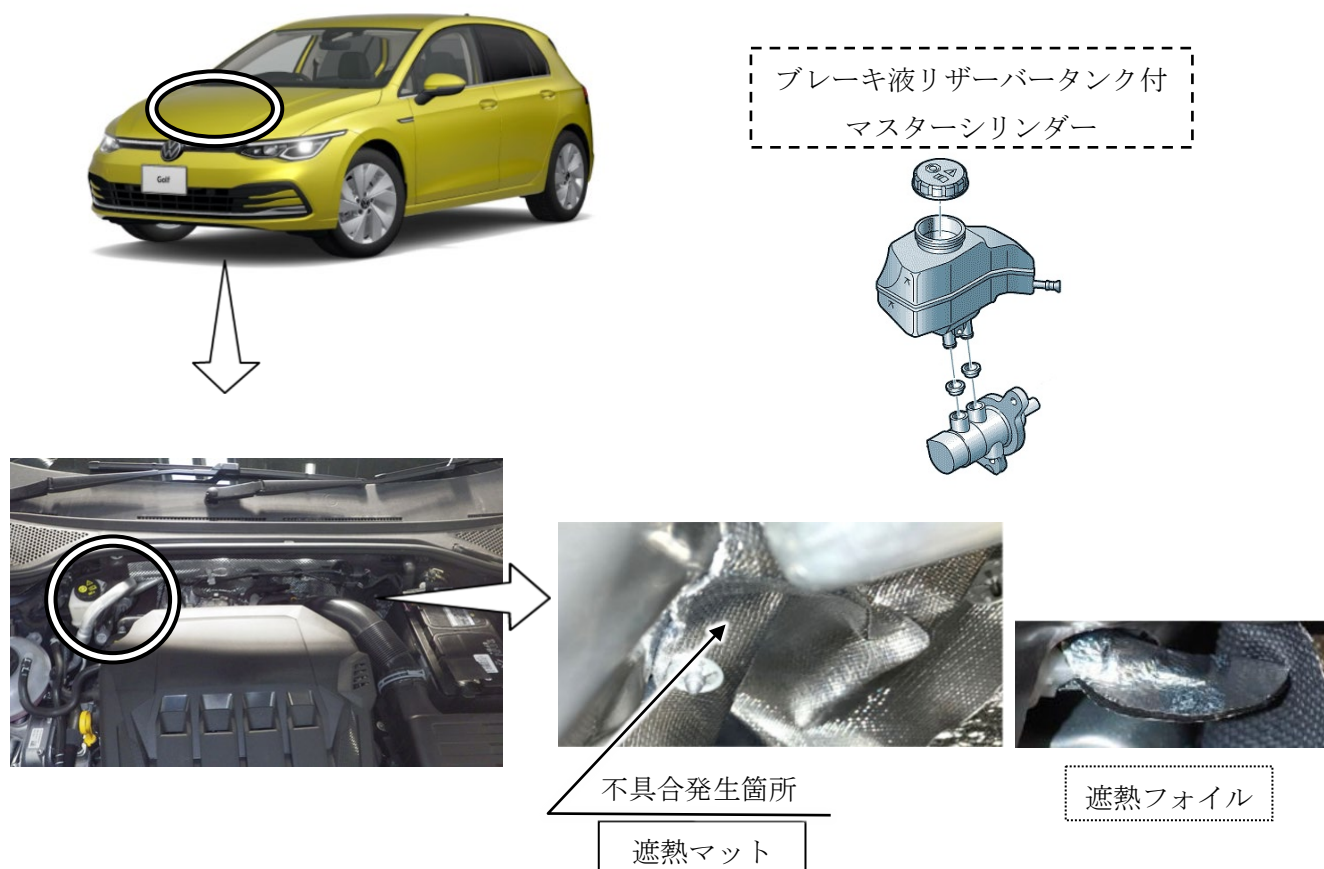
車名	型式	通称名	リコール対象車両の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象 車両の台数	備 考
フォルクス ワーゲン	3BA-CDDNP	ゴルフGTI 2.0/180kW	WVWZZCDZWN000356～WVWZZCD5PW113580 令和3年8月2日～令和4年11月22日	1,259	①
	3BA-CDDNFF	ゴルフR 2.0/235kW	WVWZZCDZWN108169～WVWZZCD9PW113923 令和3年10月6日～令和4年11月22日	34	
	3BA-CDDNFV	ゴルフRウァリアント 2.0/235kW	WVWZZCD8PW504867～WVWZZCD3PW507594 令和4年10月19日～令和5年1月5日	26	
	3DA-CDDTT	ゴルフ TDI/110kW	WVWZZCD7PW000102～WVWZZCD5PW114003 令和4年8月6日～令和4年11月25日	78	
	3DA-CDDTS	ゴルフ TDI/110kW	WVWZZCDZMW119918～WVWZZCDZWN215307 令和3年7月27日～令和5年3月8日	802	① ②
	3DA-CDDTSV	ゴルフウァリアント TDI/110kW	WVWZZCDZMW517175～WVWZZCDZWN500103 令和3年7月14日～令和3年11月2日	2	
	3DA-3CDFH	パサートセタンTDI/140kW	WVWZZ3CZME068867～WVWZZ3CZNE082646 令和3年2月13日～令和4年8月22日	409	
パサートウァリアントTDI/140kW		WVWZZ3CZME065200～WVWZZ3C6RE021734 令和3年2月13日～令和5年11月27日	1,026		
パサートオールトラックTDI/140kW		WVWZZ3CZME065473～WVWZZ3C8RE019466 令和3年2月13日～令和5年11月27日	568		

フォルクス ワーゲン	3BA-3HDNUF	アルテオン 2.0/200kW	WVWZZZ3HZME008911～WVWZZZ3H9PE511450 令和3年4月22日～令和5年11月1日	2,308	① ②
	(計 8 型式)	(計 9 車種)	(輸入期間の全体の範囲) 令和3年2月13日～令和5年11月27日	(計 6,512 台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

※ (備考) 「事故の有無」に記載のある1件については、調査の結果、製品の欠陥を一切特定できませんでしたが、本件に起因している可能性を排除できないことが判明したため、記載するものである。

改善箇所説明図



注： は、点検する部品を示す。

は、点検の結果、交換する部品を示す。

は、新たに取り付ける部品を示す。

ブレーキ液のリザーバータンクにおいて、生産工場での組付作業指示が不適切であったため、遮熱マットが正しく取り付けられていないものがある。そのため、エンジン高負荷時等の熱により当該リザーバータンクの端部が溶損することがある。最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、高温の排気系部品に触れると火災となるおそれがある。

改善の内容

- ① 全車両、遮熱マットの組付状態を点検し、正しく取り付けられていない場合は修正する。また、リザーバータンクの端部に溶損が認められた場合はブレーキ液リザーバータンク付マスターシリンダーを新品に交換する。
- ② 全車両、リザーバータンクの端部に新たに遮熱フویلを取り付ける。

識別：キャンペーンステッカーに「外-3752、日付（西暦・月・日の順）ワークショップスタンプ」を記入し、ラゲージルームフロアに貼付する。